



# ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2025年1月

# 販促・魅力発信

- 12月7・8日の2日間、兵庫県南あわじ市の産直市場「美菜恋来屋（みなこいこいや）」で開催された「東北水産フェア」に、**福島相双復興推進機構の主催で、福島県の水産加工品の販売会である「ふくしま常磐大漁市」を出店。**昨年につき2回目の開催。
- 本イベントでは、福島県漁連をはじめとした**福島県の水産加工業者等11社の商品30品を販売。**また、**福島県漁連の「めひかり唐揚げ」「さんまのポーポー焼き」や、マルリフーズの「乾燥あおさ海苔」を入れた淡路島特産の玉ねぎのスープなどの試食を実施。**
- さらに今回は、**福島の水産加工品と美菜恋来屋のレストラン等のメニューとのコラボを行った。**（定食への追加（あんこうの唐揚げ）、ソフトクリームのトッピング（乾燥あおさ海苔））
- 開催期間中は多くの方が来場し、8日には、**南あわじ市の守本市長にも来場いただいた。**市長からは「最初は被災地支援を目的で始めたイベントだったが、今は市民の楽しみになっている。また、美菜恋来屋のスタッフも一緒に楽しんでいる。」とのコメントがあった。

## ふくしま常磐大漁市 東北水産フェアin美菜恋来屋（南あわじ市）



▲会場の様子



▲守本市長（中央）



▲あおさ海苔をかけた  
淡路島の生乳原料のソフトクリーム

- 福島相双復興推進機構では、「6次産業化等へ向けた事業者間マッチング等支援事業」において、福島県産品の販路拡大に向けて、**企業間取引拡大に向けたマッチングや小売り・イベント等による販売促進、新商品開発等の支援を行っている。**
- 本事業における水産加工事業者の支援の結果、以下のような成果があった。

## 新商品開発支援成果（事例）①

- いわき市の「丸又蒲鉾製造」が新商品「厚揚げソフトかまぼこ（あおさ入）」を開発。相双機構の委託事業「ふくしまみらいチャレンジプロジェクト」にて開発等を支援。
- 本商品は丸又蒲鉾製造の人気商品「厚揚げソフトかまぼこ」に相馬市松川浦産のあおさ海苔を加えたもの。あおさ海苔は中澤水産（相馬市）より調達。「ふくしまみらいチャレンジプロジェクト」にて両者を繋げた。
- 本商品は福島県内外のスーパー等にて販売を開始しており、売れ行き好調。



▲厚揚げソフトかまぼこ（あおさ入）

## 新商品開発支援成果（事例）②

- 相馬市の「マルリフーズ」の「松川浦かけるあおさ」シリーズは、「ふくしまみらいチャレンジプロジェクト」にて開発を支援。現在販売好調で人気商品となっている。
- 同シリーズの1つである「ピリ辛松川浦かけるあおさ」が、「第15回調味料選手権2024」にて総合2位・ご当地部門最優秀賞、「ふくしま満天堂グランプリ2024」にて準グランプリを受賞した。
- 本商品は各地の小売、通販等で販売されており、売れ行き好調。



▲ピリ辛松川浦かけるあおさ

- 2024年12月2日～6日、**タイ、ベトナム、マレーシア、韓国**の4カ国から**水産物インポーター7社**を招へいし、**商談会と企業等視察を実施**。
- 日本食市場が急拡大し、**北海道産ホタテ**など水産物の輸出先として**大きなポテンシャルが期待できることから、今回の商談機会を設定**。さらに**バイヤーの購買意欲を高めるため、視察を通じて海苔、タイ・タコ（明石）をはじめとした地元の特産品への関心、産地の特徴に関する理解を深める機会を提供**。
- 招へいに先立ち、10月初めに参加する日本の水産物事業向けに**オンラインセミナーを実施**。商談のポイント等について解説するとともに、**タイ・韓国**の市場概況について情報を提供。各参加企業の効果的な商談進行の一助となった。

## アジア・バイヤー招へいによりホタテ等、水産物の商談機会を提供

### ■ アジア・バイヤーの兵庫・大阪招へい概要

- 招聘期間：2024年12月2日（月）～6日（金）
- 訪問先：兵庫県神戸市、明石市  
大阪府大阪市、堺市
- 視察先企業数：水産物加工4社
- 商談した水産物：ホタテ（北海道）、カキ、タコ（兵庫）、マグロ、カニ、ブリ、海苔等

### ■ 商談した水産事業者の反応

- ・「自社商品を東南アジアの顧客に紹介できて良かった」
- ・「未開拓の国への商談の機会が得られてよかった」
- ・「実際に食べていただくことで、より印象に残る方法で提案できた」

### ■ 招聘したバイヤー等の反応

- ・「事前準備が徹底されていたため、商談では様々な会話ができ、とても役に立った。」
- ・商談相手となるサプライヤーは、検証過程を経て選ばれた企業であり、信頼できる。



▲ 商談の様子



▲ 視察風景



▲ 神戸中央卸売市場

- 1月17日(金曜)に開催した令和6年度 第2回 全国中小企業強靱化支援協議会担当者会議において、昼食として会議出席者に「三陸常磐ものネットワーク弁当」を17食提供した。

## 1月17日(金)三陸常磐ものネットワーク弁当の提供



▲三陸常磐ネットワーク弁当  
「HANABUSAYAMA気仙沼産フカヒレ温野菜と上州牛赤身ステーキ弁当」

会議出席者にお弁当を提供▶



# 理解釀成

- **ALPS処理水に係るモニタリングの結果を一目でわかるマーク形式で表示**するページについて、**Yahoo!JAPANのトップページにバナー広告を掲載**。

## ALPS処理水に係るモニタリングページ（抜粋）

みんなで見よう。考えよう。ALPS処理水のこと

- ALPS処理水って何？ 本当に安全なの？
- トリチウムって何？
- なぜALPS処理水を処分しなければならないの？
- 本当に海洋放出しても大丈夫なの？
- 近海でとれた魚は大丈夫なの？

ALPS処理水に係るモニタリング

ALPS処理水に係るモニタリング

ALPS処理水は、放出前に、含まれる放射性物質の濃度測定を行い、安全基準を下回っていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出が行われることから、近傍に生息する魚などの食品の安全上の問題は生じません。さらに、放出前後で、海水、魚類、海藻類のモニタリングを強化して実施し、状況を確認していきます。

### ALPS処理水の分析結果

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました

- ※7月10日に採取を行ったALPS処理水（K4-Aタンク）
- ※基準：トリチウム以外の告示濃度比総和1未満

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました

- ※12月22日に採取を行ったALPS処理水（K4-Bタンク）
- ※基準：トリチウム以外の告示濃度比総和1未満

### 東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果（海水・魚に含まれるトリチウム）

現在の状態 ※

異常なし

- ※最新の各機関での分析結果をもとにしています

凡例

- 異常なし：「放出停止判断レベル」（設備の運用状況等の確認が必要な指標）を超えていないときに表示
- ⚠ 「放出停止判断レベル」を超えるときに表示

※「放出停止判断レベル」は、「放水口付近で700Bq/L」「放水口付近の外側10km四方内で30Bq/L」と定めています。これを超えた場合でも、周辺海域のトリチウム濃度は安全基準60,000 Bq/LやWHO飲料水基準10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態です。

## Yahoo!JAPAN バナー広告

みんなで見よう。考えよう。ALPS処理水のこと

周辺の海の状態はどうなっているの？

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

みんなで見よう。考えよう。ALPS処理水のこと

海水や魚は大丈夫なの？

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

ページはこちら



- 「ALPS 処理水について知ってほしい5つのこと」をそれぞれ1分程度でわかりやすく解説する動画について動画広告を展開。  
(動画はそれぞれ画像左下の2次元コードからご覧いただけます。)

## 1分程度でわかりやすく解説する動画

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
ALPS 処理水って何？  
本当に安全なの？



- ① ALPS処理水って何？  
本当に安全なの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
トリチウムって何？



- ② トリチウムって何？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
なぜALPS 処理水を  
処分しなければならないの？



- ③ なぜALPS処理水を  
処分しなければならないの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
本当に海洋放出をしても  
大丈夫なの？



- ④ 本当に海洋放出をしても  
大丈夫なの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
近海でとれた魚は  
大丈夫なの？



- ⑤ 近海でとれた魚は  
大丈夫なの？



■ 岩手日報において、岩手県の水産物の魅力とALPS処理水に係るモニタリング結果を伝える**全面カラー広告**を掲載。

新聞への広告掲載内容(岩手日報)  
全面カラー広告(12月23日掲載)

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射能物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いずれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

|       |   |
|-------|---|
| 最新の状況 | <b>ALPS処理水の分析結果</b><br>東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました。<br><small>※2024年9月10日に採取されたALPS処理水(東電グループ)※基準:1994年4月の汚染除去関係基本法</small> |
| 現在の状況 | <b>海域モニタリング結果</b><br>東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果について、異常はありません。<br><small>※近隣の各機関での放射線測定も実施しています</small>   |

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら  
みんなで知ろう ALPS処理水 [検索](#)

全体版はこちら

■ 河北新報において、宮城県の水産物の魅力とALPS処理水に係るモニタリング結果を伝える全面カラー広告を掲載。

新聞への広告掲載内容(河北新報)  
全面カラー広告(12月23日掲載)

【全面広告】 (宮城県産物) 3頁 2024年(令和6年)12月23日(月曜) (10)

## 海の恵みをいただこう みやぎの“赤貝”は美味しさ

### 太鼓判

みやぎの赤貝

宮城は、豊富な水産物の宝庫。宮城の海は、高気圧、阿波の山、北上山脈で育まれた豊かな水質から注ぎ、多様なプランクトンや有機物が集まる海域になっています。この豊かな水質で育った赤貝は、旨みが強く、鮮やかな青色をまとい、貝の上は新鮮、水揚げは豊洲市場へ、東京の高級寿司店などで提供されます。

宮城が誇る高級食材の赤貝(市場では「本玉」とも呼ばれ、とりわけ名産、貝の上は産産されてきました。この赤貝に無い無いを持つ生産者や小売店、首都圏飲食店の皆さん(「太鼓判」)をお届けします。

**全国にファンが広がる加工産業**

みやぎの赤貝は、全国的に人気を博しています。その理由は、鮮やかな青色と、旨みたっぷりの味わい。また、加工技術の進歩により、手軽に楽しむことができます。全国にファンが広がる加工産業、その魅力を紹介します。

**ぜひ現地でも味わって!**

赤貝は、宮城の海の恵み。ぜひ現地でも味わって、その魅力を堪能してください。

**Report**

全 国からトップレベルの水産物、東北地方から宮城産物まで、その魅力を伝える。みやぎの赤貝、その魅力を伝える。みやぎの赤貝、その魅力を伝える。

**前次文書が抜粋!**

江戸前寿司には欠かせません。みやぎの赤貝、その魅力を伝える。みやぎの赤貝、その魅力を伝える。

**Interview**

みやぎの赤貝、その魅力を伝える。みやぎの赤貝、その魅力を伝える。

## みんなで知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射線量が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いづれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

**最新の状況**

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いづれも基準を満たしていることを確認しました。

※2024年9月1日に採取されたALPS処理水(東も東も) ※東電(東も東も)以外のもは自費測定結果は未発表

**現在の状況**

海域モニタリング結果 (海水・魚に含まれるトリチウム)

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果について、異常はありません。

※最新の各機関での分析結果を貼っています

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら

みんなで知ろう ALPS処理水 検索

全体版はこちら

■ 茨城新聞において、茨城県の水産物の魅力とALPS処理水に係るモニタリング結果を伝える全面カラー広告を掲載。

新聞への広告掲載内容(茨城新聞)  
全面カラー広告(12月23日掲載)

2024年(令和6年)12月23日 月曜日

「常盤もの」プロに聞く

## アンコウの季節到来

東北地方から茨城県にかけての太平洋沖は、多彩な魚が獲れる魚場となっている。海産物は「三陸(常盤もの)」と呼ばれている。冬場にはけしきアンコウの季節となり、鮮やかな色とまろやかな味で賞味、提供されている。県内の漁師や加工業者、観光客、都内の飲食店の関係者に、アンコウのおいしい調理法や漁獲の状況を探した。

### 魚種多彩、豊かな漁場

久慈漁港(白立) 徳引き網漁師 沢島 治さん

立寄りの魚種が豊富な「三陸(常盤もの)」は、冬場にはけしきアンコウの季節となり、鮮やかな色とまろやかな味で賞味、提供されている。県内の漁師や加工業者、観光客、都内の飲食店の関係者に、アンコウのおいしい調理法や漁獲の状況を探した。

### 七つ道具、無駄なく食す

水産部(常盤水産) 秋山 直哉さん

魚の身を無駄なく食すには、七つ道具が必要。魚の身を無駄なく食すには、七つ道具が必要。魚の身を無駄なく食すには、七つ道具が必要。

### 濃厚どぶ汁が人気

飯橋 雅之

茨城県水産物の「どぶ汁」が人気。濃厚どぶ汁が人気。飯橋 雅之

### 底物、身厚く美味

豊洲市場・山治

底物、身厚く美味。豊洲市場・山治

みなんで知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと

最新の状況: 基準を満たす

現在の状況: 異常なし

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いづれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のIAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いづれも基準を満たしていることを確認しました。

海域モニタリング結果 (海水・魚に含まれるトリチウム)

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果について、異常はありません。

目でもわかるマーク形式でモニタリングの結果を載せているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら

みなんで知ろう ALPS処理水 検索

経済産業省 広告

全体版はこちら

- 本年1月11日、12日に開催された「双葉町ダルマ市」において、**東京電力福島第一原子力発電所の廃炉やALPS処理水に関するブースを出展**。来場者の方々に福島第一原子力発電所のジオラマを用いて説明するとともに、パンフレットの配布を行った。

## イベントの様子

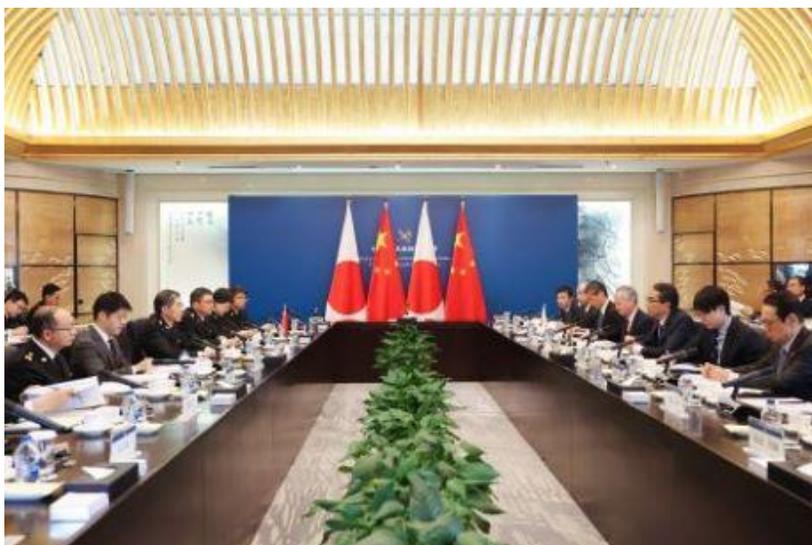


- 江藤農林水産大臣は、令和7年1月16日（木曜日）及び17日（金曜日）に、中国の韓俊（かんしゅん）農業農村部長及び王令浚（おうれいしゅん）海関総署副署長と会談を行いました。
- **王令浚海関総署副署長との会談では**、中国への輸出拡大に向けて、**日本産水産物等の輸入規制の撤廃**、牛肉の輸出再開、精米の輸出拡大**について働きかけ**を行いました。

（参考）

【農林水産省】 江藤農林水産大臣の海外出張（中国）の結果概要について

[https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu\\_kokusai/chiiki/250117\\_1.html](https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/250117_1.html)



▲江藤農林水産大臣と王令浚海関総署副署長との会談

## 1. 岩屋外務大臣によるウィップス・パラオ大統領への表敬

- ✓ 現地時間1月16日午後2時10分（日本時間同日同時刻）から約15分間、大統領就任式出席のためパラオ共和国首都マルキョクを訪問中の**岩屋毅外務大臣は、スランゲル・S・ウィップス・Jr パラオ共和国大統領を表敬**しました。
- ✓ 岩屋大臣から、ウィップス大統領がこれまで日本との関係を重視し、**特に、ALPS処理水の海洋放出について、2023年の東京電力福島第1原子力発電所視察などを通じ、その安全性に信頼を寄せていることに謝意を表明**しました。

（参考）【外務省】 岩屋外務大臣によるウィップス・パラオ大統領への表敬

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/a\\_o/ocn/pw/pageit\\_000001\\_01485.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/ocn/pw/pageit_000001_01485.html)

## 2. 国際原子力機関（IAEA）理事による宮路外務副大臣表敬

- ✓ 1月17日、午後6時00分ごろから約30分間、宮路拓馬外務副大臣は、訪日中の5名の国際原子力機関（IAEA）理事（エクアドル、インドネシア、ベルギー、コロンビア、インド）の表敬を受けました。
- ✓ **宮路副大臣から、ALPS処理水の海洋放出や北朝鮮の非核化の重要性についても説明し、IAEA及び関係各国と緊密に連携していきたい旨述べました。**

（参考）【外務省】 国際原子力機関理事による宮路外務副大臣表敬

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit\\_000001\\_01642.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_01642.html)



▲ 岩屋外務大臣によるウィップス・パラオ大統領への表敬



▲ 国際原子力機関理事による宮路外務副大臣表敬

- 令和6年11月26日（現地時間26日）から28日（現地時間28日）まで、オーストリアのウィーンにおいて、国際原子力機関（IAEA）原子力科学技術・応用・技術協力閣僚会議が開催されており、我が国から政府代表として、宮路拓馬外務副大臣が出席しました。宮路副大臣は、会議の期間中に各国政府・国際機関の要人との会談等を行いました。
- **ラファエル・マリアーノ・グロッシーIAEA事務局長との会談**において、**宮路副大臣から**、原子力科学技術の分野における日・IAEA間での緊密な連携を歓迎する旨述べるとともに、**ALPS処理水の海洋放出に関する事務局長の力強いコミットメントに改めて謝意を表明**しました。
- これに対し、**グロッシー事務局長から**、**ALPS処理水の海洋放出に対する継続的なコミットメントに加え、IAEAが推進する医療や農業に関する原子力科学技術を用いたイニシアティブに対する日本の貢献に改めて謝意が表明**されました。

（参考）【外務省】 宮路外務副大臣の原子力科学技術・応用・技術協力閣僚会議への出席（結果概要）

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit\\_000001\\_01441.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_01441.html)



▲宮路外務副大臣とグロッシー事務局長との会談

# 安全確保

## 東京電力

### ○海水中トリチウムを測定

- 放水口周辺 4 地点毎日、その他 6 地点で週 2 回（放出期間中）、放水口周辺 4 地点週 1 回、その他 6 地点で月 1 回（放出停止期間中）迅速分析を実施。

## 水産庁

### ○水産物は年約380検体でトリチウムを測定

- ①放水口の北北東へ約 4 km、②放水口の南南東へ約 5 kmの **2 地点で、週 4 回迅速分析を実施**（放出のない期間は週 1 回）

## 環境省

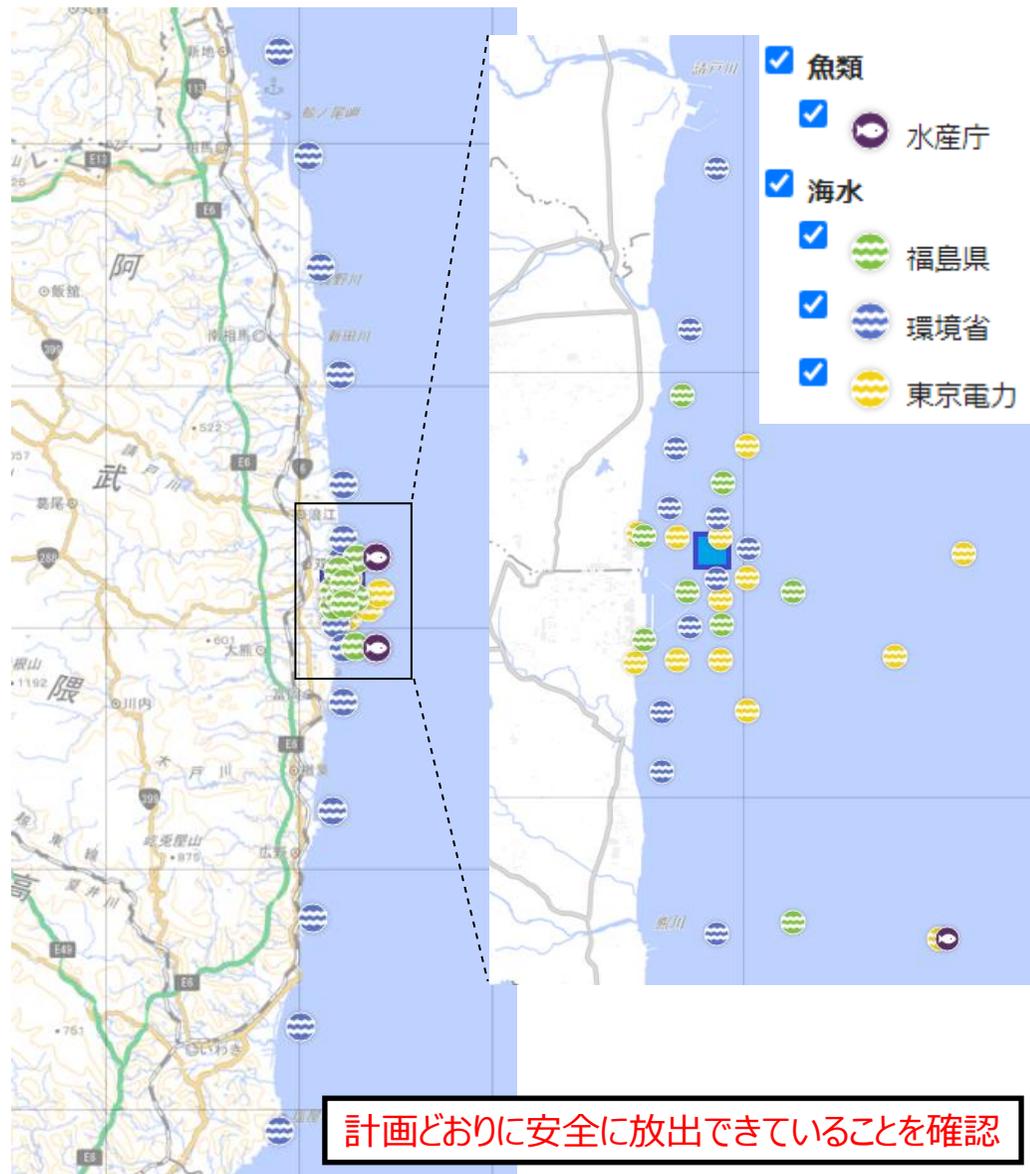
### ○海水中トリチウムを測定

- 放出期間中、放水口近傍 3 地点で期間中 2 回、その他沿岸 20 地点で期間中 1 回、迅速分析を実施。

## (参考) 原子力規制庁

### ○海水中トリチウムを精密分析にて測定。

- 20km以上離れた海域や、宮城県沖南部、茨城県沖北部でも、精密分析を実施。



- 一昨年8月から、東京電力が、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の取組について、**定期的に地元紙（福島民報、福島民友、岩手日報、河北新報、茨城新聞）に広告を掲載。**
- 本年1月は2回掲載しており、今後も**月1～2回の頻度で継続的に実施を予定。**

新聞への広告掲載内容(左上:モニタリング状況のお知らせ、右下:IAEA安全性レビュー)

### 福島第一原子力発電所「周辺海域のモニタリング状況」のお知らせ (2025年1月)

東京電力ホールディングスは2022年4月から、発電所近傍や福島県沿岸の海域において、トリチウムを含む放射性物質の監視(モニタリング)を強化しています。

海域モニタリングにおけるトリチウム濃度は、運用上の指標(放出停止判断レベル:700ベクレル/ℓ)を大きく下回り、計画どおり安全に放出できていることを確認しています。引き続き、ALPS処理水の海洋放出における安全性の確保に万全を期してまいります。

3km圏内(港湾内を除く) 20km圏内

| エリア                         | 海水の測定結果【単位:ベクレル/ℓ】<br>(2024年12月1日～12月末までに得られた測定結果の最大値) |
|-----------------------------|--|
| トリチウム<br>迅速測定 <sup>※1</sup> | 3km圏内 検出せず(<9.0)<br>20km圏内 検出せず(<8.8)                  |
| セシウム134 <sup>※2</sup>       | 3km圏内 検出せず(<0.98)<br>20km圏内 検出せず(<0.0014)              |
| セシウム137 <sup>※2</sup>       | 3km圏内 検出せず(<0.97)<br>20km圏内 0.02                       |

【参考】トリチウム濃度の比較

| 単位:ベクレル/ℓ | 国の規制基準(排水口) <sup>※1</sup>            |
|-----------|--------------------------------------|
| 60,000    | 国の規制基準(排水口) <sup>※1</sup>            |
| 10,000    | 世界保健機関(WHO)飲料水水質ガイドライン               |
| 700       | 放出停止判断レベル <sup>※2</sup> (発電所から3km以内) |

※1:左側の数値は放出下限値。放出下限値を下回った場合は、検出せずと記載  
 ※2:トリチウムの検出下限値を1リットルあたり10ベクレル程度とし、測定時間を短縮して迅速に結果を得る測定  
 ※3:福島県周辺海域における過去の測定結果は、セシウム134:0.001ベクレル/ℓ、セシウム137:0.0028ベクレル/ℓ～0.45ベクレル/ℓ(出典)

海域モニタリングの結果

当社が測定した海水や海産物の放射性物質濃度に、**有意な変動は確認されていません。**

詳細は当社ホームページをご覧ください。  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/monitoring/>

包括的の海域モニタリング

当社以外の各機関(環境省、水産庁、原子力規制委員会、および水産物の放射性物質濃度も有意な変動は確認されていません)との間で議論したほか、IAEAタスクフォースは、福島第一原子力発電所で放出関連設備の状況確認を行いました。

また、放出開始後1年間の放射線環境影響評価(右図参照)について議論が行われました。

IAEAのプレスリリースによれば、今回のレビューの結果は、IAEAから後日公表される報告書にまとめられる予定です。

当社は、IAEAタスクフォースによる安全性レビューに、引き続き、真摯に対応してまいります。

### 福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.43

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「高炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「復興と絶望の両立」に向けて、廃炉を安全かつ確実に進めてまいります。

### 国際原子力機関(IAEA)<sup>※1</sup>によるALPS処理水の海洋放出に関する安全性レビュー(放出開始後3回目)が実施されました。

▶2024年12月9日から12日にかけて、IAEA職員及び国際専門家<sup>※2</sup>からなるIAEAタスクフォース(調査団)が来日し、ALPS処理水の海洋放出について、海洋放出開始後3回目<sup>※3</sup>の安全性レビューがおこなわれました。

▶同レビューで、経済産業省や当社の担当者から、ALPS処理水の放出実績や海洋放出開始以降の海域モニタリングの実績等について説明を行い、IAEAタスクフォースとの間で議論したほか、IAEAタスクフォースは、福島第一原子力発電所で放出関連設備の状況確認を行いました。

▶また、放出開始後1年間の放射線環境影響評価(右図参照)について議論が行われました。

▶IAEAのプレスリリースによれば、今回のレビューの結果は、IAEAから後日公表される報告書にまとめられる予定です。

▶当社は、IAEAタスクフォースによる安全性レビューに、引き続き、真摯に対応してまいります。

オープニングセッションでのIAEAタスクフォース団長  
[2024年12月9日 外務省]

測定・確認用タンクの確認  
[2024年12月11日 福島第一原子力発電所]

※1:原子力の安全・平和的利用のために活動する国際機関  
 ※2:アルゼンチン、英国、カナダ、韓国、中国、フランス、米国、ベトナム、ロシア  
 ※3:過去2回のレビュー報告書(2024年1月、7月発表)では、「継続する国際安全基準の要求事項と合致しないものも確認された」との結論が述べられています。

### 放射線環境影響評価(2024年12月公表)

放射線環境影響評価(2024年12月公表)

放射線量(ミリシーベルト<sup>※1</sup>)

3  
3ミリシーベルト程度

1  
1シーベルト程度

0.1  
0.11~0.16ミリシーベルト程度

0.01  
0.08ミリシーベルト程度

0.012ミリシーベルト程度

今年度の結果  
年間0.000005  
~0.00002  
ミリシーベルト

自然放射線(日本人平均)  
年間2.3ミリシーベルト

IAEAによる安全性評価についてはこちらをご覧ください  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/safetycheck/review-point/>

感傷物

今年度の結果  
1日あたり  
0.0000009  
~0.000001  
ミリグレイ<sup>※2</sup>

ICRP勧告の基準値  
1日あたり  
1~10ミリグレイ  
(急性は、その10倍)

※1:シーベルトは、放射線が人に与えた効果の影響の単位です。  
 ※2:グレイは、放射線がものに与えた効果の単位です。急性は、その10倍のエネルギーを吸収すると、死に至ります。

出典:放射線影響評価委員会 編

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進部

ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/>

IAEAによる安全性評価についてはこちらをご覧ください  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/water-treatment/safetycheck/review-point/>

福島第一原子力発電所の高炉・汚染水・処理水対策  
[▶「皆さまのご意見をお聞かせください」  
https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html](https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html)

東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 〒979-1301 福島県双葉郡大畑大字大字北2-2

東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 〒979-1301 福島県双葉郡大畑大字大字北2-2